

休日当番病・医院

3月5日(日)

- ◆内科 たくしん小児科 53-7788
拓勇西町
◆外科 勤医協苦小牧病院 72-3151
見山町
◆歯科 玄間歯科医院 73-8823
柏木町

診療時間：内科・外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時
本紙は、毎週火曜日に編集しますので、その後に休当番医が
変更になってもお知らせすることはできません。
ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



3月24日(金)
川上有 弁護士

(宝具になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

日本共産党
民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ http://www.jcp.or.jp
苦小牧市議会ホームページ http://toma-jcp.sakura.ne.jp/
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします



2月定例会市議会が開かれた24日、日本共産党の富岡隆議員は代表質問に立ち、岸田政権が防衛費の拡大を打ち出すなかで、市が米艦船の苦小牧港入港を容認したことに対し、市長の姿勢を質しました。富岡議員は、岸田政権が専守防衛を掲げ捨てる「安保3文書」を決め、5年間で43兆円のGDP比で2%の防衛費を打ち出したことにマスコミや有識者から批判が出ていることを紹介。「国会審議もなく、閣議決定した政府の姿勢には怒りを感じる、と同時に



大軍拡で平和や暮らし壊されたらたまらない

苦小牧市議会

富岡議員が代表質問 政府の防衛費増を批判

民主主義にも反するものではないかと考えます」「今こそ政府が軍拡を進めるのではなく、平和の準備をすること。外交で戦争を起こさない努力をすること。反戦、戦争回避の行動をすることが強く求められている」として、岩倉博文市長の認識と見解を求めました。

岩倉市長は、「安保3文書」の決定は、ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル問題など、我が国を取り巻く安全保障環境の変化を踏まえたうえで、政府の判断であると認識しているとし、「敗戦国であり唯一の被爆国でもある政府の立場としても当然、外交による戦争回避を最優先としていて考えているが、ウクライナ侵攻などを踏まえる」と一定の防衛費の増額はやむを得ないものと考えている」と答えました。

富岡議員は、1月末に米ミサイル駆逐艦ラファエル・ペラルタの入港受け入れについて、核兵器搭載に疑義があり、訓練途中の寄港であり軍事利用ではないのか。鳥越元市長は非核平和都市条例の理念から入港を拒否しており、今回入港をなぜ拒否しなかったのかとたどりました。

◆学校給食費を無償化に

富岡議員は、子育て支援と

いうのなら小中学校の給食費は憲法通りに国の責任で無償化することだと強調。苦小牧市ではすでに小中学校に3人の子どもが通っている家庭には無料となっており、全国では2017年度の76自治体から現在224区市町へと3倍に増えていると指摘し、「国に対して給食費の無償化を強く求めるとともに、市としても無償化のさらなる拡充をすべきです」と求めました。

富岡議員は、子育て支援と

富岡議員は、子育て支援と

富岡議員は、子育て支援と

富岡議員は、子育て支援と



富岡議員は、子育て支援と

富岡議員は、子育て支援と

富岡議員は、子育て支援と

富岡議員は、子育て支援と

統一協会の寄贈 受けないで

市民団体

苦小牧社協に要請 利用されてはならない



よう申し入れを行いました。要請には構成団体を代表する7人が参加し、社協からは伊藤康博事務局長らが応対しました。

要請内容は、●統一協会などに限らず、刑事・民事の法的係争を抱える団体からの寄贈は受け入れない旨を明らかにすること ●受け入れ時に上記のことが確認されなかった場合も含め、広報等に寄贈先として上記団体名を掲載するなど顕彰となる措置を行わないことーの2点。

「明るい苦小牧市政をつくる会」(代表＝横山傑・苦小牧地区労連議長)は2月14日、苦小牧社会福祉協議会が、統一協会(世界平和統一家庭連合)から寄せられた「ペットボトルキャップ」を受け取り、『とまこまい社協だより』1月号にそのことを掲載したことにに対し、適切な対応をとる

に利用している実態を指摘。「市民の善意が集められる場であるはずの社会福祉協議会が、反社会的な集団の宣伝の場として利用されることのないように」と要請の趣旨を説明しました。

横山代表は、「統一協会の行いによる深刻な被害が次々と明らかにされ、社会的な批判を受けている今こそ、他の金品の寄付などについても彼らに利用されることがないよう、広報誌などで彼らの行為を顕彰することがあつてはならない。ぜひしっかりと法的にも問題とならない対応を検討して対処してほしい」と重ねて要望しました。

明るい会は、要請事項への回答を文書にしてくれることを求めました。

22日付けの文書回答によると、「ペットボトルキャップなどのリサイクル物品の寄贈については、地域のみなさんと一緒に取り組んでおりますので、当会がそれぞれの団体ごとのリサイクル物品の寄贈行為を取捨選択できません」

「地域福祉に広く役立つにことに感謝の意を込めて、『社協だより』に授受した金

生業と暮らし守るために
インボイス
実施中止を
日本共産党

品や物品を全て公表しています。ただし、匿名や掲載を希望しない方の場合、掲載していません」としています。

なお、社協は、ペットボトルキャップとリングブルの寄贈受付を2月28日で中止しました。「明るい会」の斎藤秀夫事務局長は、要請の時期と並行して、社協から各町内会に対してリングブルとキャップの受け入れを中止したことを伝える文書が出されている

事実を指摘し説明を求めました。社協は、今回の要請とは関係がない決定なので、その事実を伝える必要はないとの説明を繰り返しました。

ほんの紹介

◆戦争ではなく平和の準備を志位委員長国会質問(日本共産党出版局) 340円(税込) 大軍拡、敵基地攻撃、米軍と融合。志位委員長の国会論議は、岸田政権の大軍拡の危険性を明らかにし、過去の政府の敵基地攻撃解釈や「専守防衛」との整合性について首相を説明不能に追い込みました。大軍拡を許さない「平和の大攻勢」をするための恰好のパンフレットです。



品や物品を全て公表しています。ただし、匿名や掲載を希望しない方の場合、掲載していません」としています。



共産党の

「鉄道提言」に共感

国会かけある記 紙ともこです

2月15日～17日は鉄道と酪農の聞き取りを、18日は芽室町と幕別町、19日は旭川市、23日は札幌市西区で統一地方選挙に向けた演説会に参加しました。

北海道新幹線の札幌延伸工事費は、当初計画(1兆6700億円)から約6450億円も膨らみ道民負担が発生します。札幌市によると、国からは十分説明はされていないと言われます。

在来線の廃止も地域に大きな影響がでます。富良野市では、「JR根室本線の富良野―新得間を存続させる」署名に取り組む住民団体と



国交省と総務省から大雪被害対策レク(22日)

専門家、研究者との懇談では、道路予算に偏重した国の交通行政のあり方が議論になりました。どの懇談でも共産党の「上下分離方式」(国が鉄道施設をもち、JR各社が運行する)等の「提言」が好評でした。統一地方選挙でおおいに広げていきたい。

十勝では2月14日の「酪農の灯を消すな!」国会集会に参加した2人にお会いできました。集会では語りきれなかった現場の実態と怒りを聞くことができました。論戦に生かします。

紙智子(かみ・ともこ) 日本共産党参議院議員

日本共産党は、トルコとシリアにまたがる大地震で緊急支援募金を受け付けています。

政治に春をよぶつどい
カジノミクスから優しく強い経済に
講師 **大門 実紀史**さん
◆日本共産党前参議院議員(参加料 300円)
●3月18日(土) 午後2時
●苦小牧市民会館 小ホール
※マスク着用を
主催: 政治に春をよぶつどい実行委員会
TEL 0144-56-5002